

## 1 安全防災・危機管理対策

### (1) 年末年始の輸送等に関する安全総点検

輸送が繁忙する年末年始に臨み、自主点検等を通じて海上輸送の安全性の向上及び安全意識の高揚を図るため、管内の旅客船事業者、人の運送をする不定期航路事業者、内航貨物船事業者に対して、年末年始の輸送等に関する安全総点検を実施した。

平成26年度は、以下の5点を最重点課題とし、経営トップから現場まで一体となった下での安全性向上等を図ることを目的とした総点検を行った。

- ① 安全管理規程や特に運航基準等の確実な遵守状況
- ② 安全に関する設備の確実な備付け及び旅客・乗組員・貨物に関する安全対策の実施状況
- ③ テロ対策（不審者対策等）の実施状況
- ④ 新型インフルエンザ対策の実施状況
- ⑤ 自然災害、事故等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況

年末年始の輸送等に関する安全総点検結果（平成26年12月10日～平成27年1月10日）

	事業者数		船 舶	
	旅客船	貨物船	旅客船	貨物船
自主点検実施事業者・船舶数	70	48	158	202
現地確認実施事業者・船舶数	17	0	33	0

### (2) 運輸安全業務推進本部

神戸運輸監理部は、運輸安全マネジメント評価の実施、その他の運輸安全行政を積極的に展開し、安全に向けた運輸事業者の取り組みを推進することを目的として運輸安全業務推進本部会議を平成26年度は9月に開催した。

### (3) 防災訓練

平成26年9月1日、山崎断層を震源とする地震発生（姫路市：震度6強、神戸市：震度5弱）を想定し、職員を対象に、初動体制確立（災害対策本部設置）訓練、情報伝達訓練、緊急旅客・物資輸送対応訓練・近畿運輸局とのテレビ会議等を実施した。

### (4) 安全防災講習会

平成26年11月11日、神戸海洋博物館ホールに於いて、運輸事業者・関係団体等を対象に、第1部は兵庫県防災計画課 古林智宏主査「南海トラフ巨大地震・津波と兵庫県被害想定結果について」、第2部は（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来研究センター近藤伸也研究主幹「災害状況イメージーションの重要性」をテーマとした安全防災講習会を開催

し、165名の参加があった。

#### (5) 市民救命士講習会

平成26年5月15日、災害時における負傷者の救助体制確立を目指して、市民救命士講習会を開催し、「普通救命コースⅠ」は16名、「けがの手当コース」は14名が受講した。

#### (6) 災害時の旅客船による輸送に関する協議会

巨大地震や津波によって陸上交通機関が寸断された場合に、神戸港を起点とした旅客輸送が迅速に行える体制を構築すること等を目的とした「災害時の旅客船による輸送に関する協議会」を関係行政機関、旅客船協会で組織し、3回の会議と3回の作業部会を開催し、平成27年3月13日に報告書を作成した。

平成26年度は、これまで検討してきた航路開設に至るまでの手順・役割分担等の確認と手順への習熟を図るため、図上訓練を実施した。

■協議会メンバー：近畿地方整備局、近畿運輸局、神戸海上保安部、兵庫県、神戸市、尼崎市、芦屋市、西宮市、  
尼崎市、明石市、姫路市、神戸旅客船協会、神戸運輸監理部

#### (7) 南海トラフ巨大地震を想定した大規模津波防災総合訓練の参加

平成26年3月28日に中央防災会議において決定された「平成26年度総合防災訓練大綱」に基づき、同年11月8日、近畿ブロックで南海トラフ巨大地震を想定した大規模津波防災総合訓練が行われ、参加した。